

家づくりの時に 私たちができる事が あります

～サステナブルな森と地域のために～



ぎふの木ネット協議会

家づくりの考え方 事例編



森を守るために。

ぎふの木ネット協議会は、岐阜県産材の活用を推進し、岐阜の林業や人々、森林を守るために結成された団体です。現在、約230社/団体以上がこの考えに賛同し活動に参加しています。(2022年11月現在) 会員には工務店・木材メーカー・林業関係・森林組合はもちろん、設計事務所や不動産会社・デザイナー・建材メーカー・金融・保険関係の会社、県や学術機関まで幅広い業界の方々があります。このような業界の垣根を超えた産官学の連携を活かし、それぞれの視点や得意分野の情報提供などを通して協議会活動の企画・運営をしています。



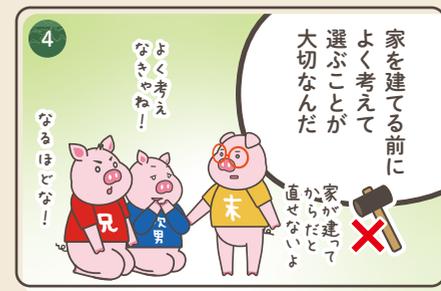
連携を活かした協議会活動

協議会では、木材の活用や健康に与える影響についての研究、WEBサイト・SNSによる会員工務店や岐阜県産材に関する情報発信、デジタル住宅展示場「モクタウン」の運営、岐阜県産材を使ったモデルハウス見学会のような一般向けイベントの開催などの活動を行っています。



構造材ってなーに？

by 新3匹のこぶた



住宅を考える時、床や壁紙・キッチンなどは積極的に選ぶのに対して、家の「構造」に関わる木材は、あまり重要視されていないことがよくあります。あとから簡単にリフォームできない構造材(木材)については、特に意識をもって選んでほしいと私たちは思うのです。

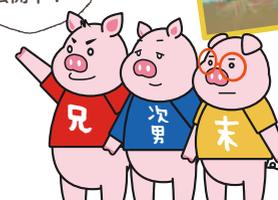
木を使うことが森のために？

動画で分かりやすく解説！

地域の木を使うことでその流通量が増えれば地域の森に還元でき、それが森の適切な管理、未来の良質な木材の育成、環境問題の改善にもつながります。これらの仕組みをアニメーションで分かりやすく解説しています。



Youtubeで公開中！





Structural material package

What

岐阜県産材が使いやすくなる！

構造材パッケージとは？

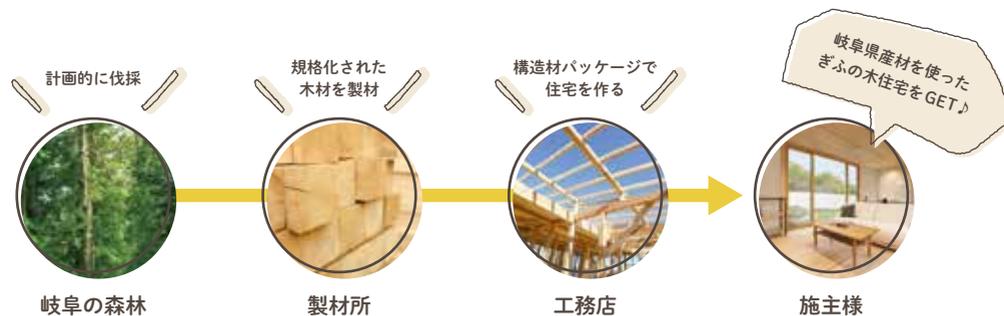


ぎふの木ネット協議会では、構造材の60%以上に岐阜県産材を使用するという条件を基に地域材活用の家という認定をしています。

家が建った時にはその構造材は直接見えない部分ですが、あとからやり直しがきかない部分だからこそ、考えて木材を選んでいただきたいと思います。

この「構造材」にどのような木材を使うのかをある程度規格化することで、木材生産の効率化を図り、岐阜県産材を利用しやすい環境を作り出そうとしています。

また使用する材料についても、より皆様に分かり易く説明ができるように工夫しています。



Why

実は良いことづくし！

パッケージ化するとなぜいいの？

POINT

01

岐阜県産材を使った住宅を建てやすい

一般ユーザーの皆様には、より関心を持って簡単に県産材を選んでいただけるようになります。この情報は、カタログやホームページでも発信していきます。



POINT

02

安定した岐阜県産材の供給

家を建てるために使われる構造材の木材は数多くの種類があります。これをある程度絞り込んでパッケージ化することで、生産する業者もストックする業者も生産計画がより見やすくなり、安定的に供給することができるようになります。



POINT

03

規格化された木材を使うから通常より低コスト&短納期！

仕様が規格化されることで、製材事業者は今までのような多品種小ロットの対応をしなくてもよくなるため、作業が大変効率的になります。そのため通常よりも低コスト&短納期が実現できるのです。

POINT

04

地域を守ることにつながる！

地域の材料を、その地域に住む私たちが積極的に使っていくことで、県産材の使用量が増えます。その結果、森の手入れが十分にできるようになり、さらには私たちの住む地域の森が安全に保たれます。私たちの意識を少しだけ変えることで、自分たちの住む地域の未来も変えることができるのです。



地域を守るって？

国産材&県産材を利用することで日本の森の環境が改善されます！



なぜ国産材を使うべきなのか。森の役割について理解し、私たちにできる事を一人一人が考えて行動することで、地球の未来は少しずつ変わってきます。



100%国産材にしても日本の需要はカバーできる？！

世界の森林率は平均で約30%、この30年で日本の面積の約11倍の森林が減少しています。それに対して日本の森林率は約67%です。年間で7,000m²近く増加し続けています。



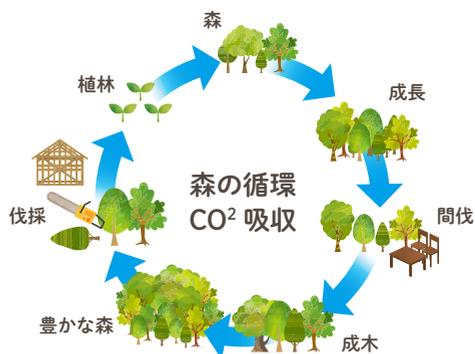
若い木の方がCO²を吸収する？！ カーボンニュートラルな世界を目指して



木は光合成により二酸化炭素を吸収して酸素を排出します。この光合成は樹齢の高い木よりも若い木の方が活発に行えます。温室効果ガスの削減には若い木の方が有効的だと言えるのです。このことから、木を伐って若い木を育てることが地球温暖化には効果的であるとも言えます。

伐って、使って、植える。 自然災害を防ぎ、環境改善！

木を植えて終わりではなく、成長した木を伐ってそれを使い、また新しい木を植える、こうしたサイクルを繰り返すことで、森林はいつまでも元気でいられます。そしてそれが災害防止にも役立つことになるのです。



ぎふの木ネット協議会の想い

構造材のパッケージ化とは

住宅を建てるために使用される木材には様々な種類があります。それらをすべて県産材でそろえるためには、各製材工場が多品種小ロットの生産をしなくてはならないことになり、大変効率が悪くなります。またそういった理由から小規模な製材工場では、様々な種類の材料をストックしておくことが難しくなり、県産材の活用に対するハードルを上げてしまっています。

そこで私たちは柱・梁桁・土台など、家の主要な構造材の品種をある程度絞り込み、その組み合わせをパッケージ化しました。この構造材パッケージの取り組みは、ユーザーの皆様にとってもサプライチェーンの各プレーヤーにとっても、より県産材を使いやすい仕組みとなっているのです。

みんなにメリットが

ユーザー
簡単に選べるので、
県産材を活用しやすい

流通業者
オーダー生産より
納期を短縮できる

原木・製材業者
生産計画が立てやすく、
安定的に供給できる

ぎふの木ネット協議会は、様々な業界の事業者が集まった産官学連携のチームです。1社では難しいことも、多くのメンバーが集まることで可能になることがあります。私たちは大切な地球のサステナブルな未来のために、身近なところから活動を進めていきます。

木は、私たちの地域の大切な持続可能な資源です。ぜひこの活動を私たちと一緒に進めていきましょう。





すべては**未来の森と人**のために 木でつくる**健康な暮らし**



県土面積の81%を森林が占め、昔から森林とともに暮らしを営んできた岐阜県。地域の森林から伐り出した木材を使うことは、森林を健全な状態に保つだけでなく、林業や建築業など地域産業の活性化にもつながります。また住宅などに使用することで、木が持つ性能や効果が人の健康維持に役立つことも期待されます。

木が人に及ぼす影響や木材活用の可能性について、首都大学東京名誉教授の星旦二氏と、岐阜大学応用生物科学部教授の光永徹氏、ぎふの木ネット協議会会長の吉田芳治氏に話を聞きました。



ぎふの木ネット協議会会長

吉田 芳治氏
Yoshida Yoshiharu



岐阜大学応用生物科学部教授

光永 徹氏
Mitsunaga Tohru



首都大学東京名誉教授 医学博士

星 旦二氏
Hoshi Tanji



木がもたらす好影響 住環境が健康をつくる

—— 私たちが健康で長生きするために、必要なことは。

星

全国的に平均寿命が長い県を見てみると、その特徴として山が多いことが挙げられ、水や空気が美しく環境が豊かであることが、健康に大きく影響しているといえる。そのため多くの山々に囲まれた岐阜県は、長寿を誇る県の1つだ。

一方で長野県では、50年前まで年間約5,000人が脳血管症で死亡していた。そこで「農村医療の父」と呼ばれる岩月俊一医師は、住宅の寒さに原因があると考え、住環境の改善を推進。結果、脳血管症による死者は約1,000人まで減少し、現在は健康長寿の県といわれるまでになっている。また北海道では、早くから住宅性能を高める健康住宅運動が行われ、厳しい寒さの中でも冬季死亡増加率が低い。こうした点から、自然環境とともに住環境が健康の鍵を握ることが分かる。現在、岐阜県は冬季死亡増加率が高く、住宅環境を改善すれば、さらなる健康長寿につながるという。

光永

すべての木はセルロース、ヘミセルロース、リグニンという主要成分から成り、電磁波や紫外線、臭いや音などを吸収する性質を持つ。それに加えて、木はそれぞれ特有の香りを持っており、生体にさまざまな影響を及ぼすことが、科学的データに基づいて明らかになっている。

私は現在、日本産ヒノキ科の木材の香りが生体に与える影響を研究しており、すでに研究成果の1つとして、うつ病の症状を持つマウスにスギの香りを嗅がせると、行動パターンや記憶力などの学習能力が回復するというデータを得た。動物実験レベルでは木の香りが生体・生理に好影響を与えることを実感している。今後は人においても、日常に木材の香りを取り入れて交感神経と副交感神経のバランスをとることで、体内のホルモンバランスや認知症、骨粗しょう症などの改善につながればと考えている。

吉田

私も健康住宅を目指して自宅をリノベーションした。輻射熱を用いた暖房による均一な温かさや、ヒノキやスギ、ヒバなどの無垢材がもたらす爽やかな空気に何ともいえない心地よさを感じ、木には「未病」を改善し、発病させない効果があると実感している。

しかし、住環境や木材が健康に有効であるとは分かっている一方で、岐阜県は豊かな木材資源に恵まれているにもかかわらず、それを使いこなせていないのが大きな課題だ。特に多くの木材が使われる住宅業界は、安価で効率化を図れる外国産材や新建材を使用する家が増加し、国産材の使用が減少している。地域に根づく林業事業者や工務店など、木を扱う担い手の減少や森林の荒廃を防ぐためにも、国産材の需要を増やしていくことが急務と考え、県産材のさらなる活用を目指す“ぎふの木ネット協議会”を発足した。(2019年4月)

topic 02

木の良さを発信し、地域産業の活性化を

ぎふの木ネット協議会発足の意義は。

吉田

同協議会では、「山・人・技術」を守る取り組みを通じ、地域活性化を目指している。まずは、木材を適切に使用し、豊かな山をはじめとした自然を次世代に残すこと。同時に、木の性能を活かした住宅などを普及啓発し、木の力で人の健康を守ること。そして、木を扱う技術や職人の育成に注力し、地方創生につながる地場産業を元気にすることが、大きな柱だ。

現在、こうした考えに賛同する企業や団体も約230(2022年11月現在)になり、木材の共同仕入れなど地域の1企業だけではできない取り組みに向けても、可能性が広がっている。今後も賛同者を増やして発信力を強めるほか、協議会の方向性を具現化した成果を出すことが使命だと考えている。

星

例えば漆喰や無垢材などの自然素材でつくられる、昔ながらの日本家屋に住んでいた時代には花粉症はなく、住環境の変化が原因の1つといわれている。またヨーロッパでは、長い年数持続可能な住宅を建て(石造りの家などは約500年)、地域の工務店がメンテナンスをする文化が根づいている一方で、日本は平均27年しかもたない家が多く、常に住宅ローンを抱えているため生活満足度も世界の中でとても低い水準にある。地元の木・地元の工務店で建てた100年もつ住宅をメンテナンスしながら住むことで、健康と地域活性化を実現する。そのサイクルが生まれれば、日本の先駆的モデルになると感じている。多くのエンドユーザーがこうした知識を得て、環境や資産性を考慮した適切な選択をする「インフォームドチョイス」ができるよう、同協議会から正しい情報を発信してほしい。

光永

介護施設や教育施設では、木の香りや木目の美しさ、木肌の温もりなどが精神生理に働きかけることが分かっており、スギ材を用いた教室において、落ち着きのある小学生が増える傾向にあるという研究結果もある。しかしこうした多くの研究も、研究者がその結果を消費者の目線に立って発信しているかという点では、まだまだ十分ではない。エンドユーザーに「木はいいもの」という認識を持ってもらい、木を暮らしの中でもっと活用してもらうためには、木の効果を具体的な数値で感じてもらうエビデンスを示すことも必要だ。その点で、多くの企業や団体が参加する同協議会に研究機関も参画し、研究成果を確かなデータとしてエンドユーザーにも分かりやすく伝えることに、大きな意味があると考えている。

topic 03

木のチカラで 森も人も健やかに

今後、ぎふの木ネット協議会が目指すところは。

吉田

協議会の目標として「健康寿命を伸ばすこと」を掲げ、それに向けて県産材を利用した商品やビジネスモデルの開発に努めていく。現在、同協議会にはIT分野の企業も参加しており、「ITを使って業界にイノベーションを」というのも大切なテーマの1つだ。幅広い分野の企業が互いのノウハウを持ち寄り、まったく新しい発想が生まれる。そしてこの取り組みによって、新たな県産材活用の波を作り出せるのではないかと期待している。

What's?

誰に相談したらいいの? ?

家づくりフローチャート

「家を建てたい」「リフォームしたい」という相談であれば、

各地に工務店・ビルダーなどの
建築業、設計業、不動産業のメンバーがいます。
あなたのお考えをぎふの木ネット協議会
メンバーに相談してください。

Question 01

家づくりのパートナー
(工務店・ビルダー)
がすでに決まっている

Yes

ぎふの木ネットサイトへ

県産材活用について、木の良さや性能についての情報を掲載しています。また様々な県産材商品のご紹介もしていますので、家づくりの参考にしてみてください。



No

Question 02

家づくりのパートナー
(工務店・ビルダー)
を探したい

Yes

デジタル展示場モクタウンへ

岐阜県産材を活用する地域の工務店をご紹介します。各社の施工事例はもちろんのこと、モデルハウスをVRで見たり、造り手のこだわりを動画で見ることができます。



No

Question 03

開催している
イベントに
行ってみたい

Yes

モクタウン イベントページへ

現在参加可能な各種イベント情報が掲載されています。申し込みから日にちや時間の変更まで、すべてWEB上で手続きが可能です。



No

Question 04

家づくりの
相談がしたい

Yes

ぎふの木ネットサイト お問い合わせへ

家づくりでご不明な点がありましたら、ぎふの木ネット協議会事務局へご相談ください。住まいのセカンドオピニオンとして第三者的立場で工務店・ビルダー選びをサポートします。



あなたの人生設計からベストな建築計画をいっしょに考えます。

工務店・ビルダーのマッチングもお任せください!

株式会社アイギハウジング



Build a house with you

自然素材や無垢材に囲まれた 気持ちよく深呼吸できる家づくり



私たちアイギハウジングは自然素材や無垢材を使い、木の香りが充満する、気持ちよく深呼吸ができる家づくりを目指しています。最近、住宅の断熱や気密のレベルが上がったことで、自然素材や無垢材が持つ調湿や吸放湿性能の重要性がますます高まっています。

私たちは地元の東濃産の柱をはじめ、一枚板のカウンター材などをいつでもご提供できるように、自社倉庫にて大量に仕入れ、自然乾燥させ、保管しています。今までは米松を使うこともありましたが、今年からオール国産材に切り替えつつあり、できるかぎり県産材のスギやヒノキを使用していきたいと考えています。

デザインについては、素材をそのまま感じてもらえるような仕様一辺倒ではなく、異なるテイストをミックスすることで、高いデザイン性を表現できるように意識しています。

代表取締役
保母 龍興

POINT 01 美しくて機能的な「軒」のある家づくり

軒を出したデザイン性の高い家づくりを心がけています。というのも、外壁のメンテナンスがまったく異なることと、庇(ひさし)が窓に影を作るので、断熱・遮熱の意味でも庇は重要だと考えています。太陽が高い位置にある夏は庇で遮るべきですし、冬は太陽が低いので適度に光を採り入れることができます。

軒を出し、軒天に
木材を使ったデザイン

あとは分譲住宅です。最近では土地を分譲して家を造っていただくケースが多いですね。本屋普請の建て替えが少なくなったので、一般的に分け家になっています。昔の住宅は60坪以上がほとんどでした。今は平均で30~40坪くらいです。



POINT 02 「木を切る = 自然を守る」 コンセプトに共感してくれる人を増やしていく

今、SDGsが浸透していることもあって、コンセプトに共感する若者が増えていますよね。

自然を守るために、木を切って森を管理しなければならない。延いてはそれが災害予防にもつながる。だから、木の家づくりにこだわっている。私たちのこうした思いに共感してくれる若者がたくさんいるはず。私もそうでしたが、「木を切る = 自然を守る」ということすら知らない人も多いと思うんですね。

ぎふの木ネットのコンセプトを前面に出して共感してくれる人を増やすことが、木の家づくりの拡大につながっていくと思います。具体的にどうするかというと、やはりコンテンツを増やすことでしょうか。森林保護や植林への寄付もいいかなと思います。新聞社を呼んで記事になれば、広くアピールする機会にもなりますしね。

古民家の魅力は残したまま
快適な住まいに再生森の中に住むように
穏やかに暮らす家

POINT
03 求める品質を維持しながら、コストダウンにもつながる

山と製材工場については、価格と供給量を固定するという方向性へ進んでいます。ビルダーが価格によっては外材を使うとなると、そこに不信感が生まれてしまいます。

私たちは材料を置く大きな倉庫を用意してある程度の在庫をストックしています。その中から担当者が必要なものを選び、お客様に提案できるようにしています。まとめて仕入れることで、コストダウンにもつながります。最近では長さの長いものは自社で在庫として持っていてほしいかなとも思っています。

構造材のパッケージについては、規格化されたものがあればそれに合わせて設計もできるのでいいですね。



材料倉庫はいつでも
見学可能です！



香り高い美濃の銘木
「東濃ひのき」

POINT
04 「地元の木を使った家づくり」がもっと広まるために

ぎふの木ネットの存在を知っている人がまだ少ないと思うので、どんどん広報活動など進めたいです。

ぎふの木ネットの会員には地元の木を使う優秀な工務店が入っているよということをもっとアピールしていきたいです。ぎふの木を使うことが一番のブランド化ではないかなと思いますから。



森林浴をしているような
爽快感と微かな森の香り

Create a healthy living environment



company 会社概要



会社名 株式会社 アイギハウジング
 代表者 代表取締役 保母 龍興
 所在地 〒509-7201
 岐阜県恵那市大井町 1134-82
 営業時間 8:00 ~ 17:00
 TEL 0573-26-1567
 FAX 0573-25-9671

Mail info@aigihousing.co.jp
 URL https://www.aigihousing.co.jp/

SCAN ME!
 詳しくは
 ホームページを
 ご覧ください



株式会社アシスト



Build a house with you

 みんなの喜ぶ顔が見たいから
 モストリノベーション


新しいブランド「モストリノベーション」を立ち上げました。「モストリノベーション」とは、ワンランク上のリノベーションという意味です。他社と差別化を図るため、リノベーションを前面に打ち出すスタイルにシフトチェンジしました。

具体的には、お客さまに合う設計士と組んで、私たちが工事をサポートするかたちです。例えば、水回りだけの改修工事ではなく「デザイン性のあるリノベーション」で生活をより豊かにできたり、店舗リノベーションの場でも真価を発揮することが可能です。

本音を言ってしまうと、新築の方が売上を上げやすい。なぜならば、リノベーションは現場によって状況が異なるため対応が難しいから。大工職人や現場監督の技術力が試されるのがリノベーションの特徴です。当社は、その難しさに対応できる経験と技術を持っていますから、強みを存分に発揮できます。リノベーション物件は大変な分、前の状態から「これだけ良くなった」の加算になるので、お客さまの喜ぶ顔を見ることができます。売上や利益も大切ですが、喜びが多いほうにシフトする考えに至りました。


 代表取締役社長
 猪島 正司

voice

POINT 01

打ち合わせから完成まで、設計士と一緒に作り上げる

私たちの強みは、「営業＝設計士」であること。初めての打ち合わせから完成まで、経験豊富で優秀な設計士がお客さまと直接対話しながら、一緒に家を作り上げます。お客さまの声がダイレクトに反映されやすい、といったメリットがあります。

また、デザイン住宅にも自信があります。洗練されたデザイン住宅は、設計士の感性と実績に大きく左右されます。お好みのデザインに合わせた空間提案のできる設計士によって、満足して住み続けられる理想の住宅をおつくりできます。


 美しい白外観と
 優れた家事導線の家

 開放感ある大空間
 快適な平屋風の家

POINT 02

地域に先駆けてエア断熱を導入

当社では郡上地区に先駆けてエア断熱を取り入れています。換気を良くすることで夏は涼しく、冬は寒くなりにくい新しい断熱法です。

今後は次世代のエネルギーとして注目を集めている太陽光発電も視野に入れてご提案していくつもりです。政府の方針で、2030年までに新築住宅の平均でZEHを目指すと言われてきました。太陽光発電の設置など条件を満たせば補助金や助成制度が利用できますし、省エネによって光熱費も下げられます。これからはお客さまのほうから家の性能を高めることを望まれると思います。現状、太陽光発電の普及率は2～3割といったところですが、今後は義務化される見通しなので、設置が標準となるでしょう。

快適エア断熱住宅



POINT 03 職人マッチングサービス「だいくエイド」で 建築現場の“困った”を助ける

家は大勢の「人の手」によって築かれています。よいものづくりは人づくり。お客様の思いとともに叶えるために、熱い思いを持って家づくりに取り組んでいます。しかし、大工さんの数は年々減っており、技術を有する大工さんとなると、さらに希少な存在です。だからこそ熟練の仕事の価値が、今後ますます高まっていくと思うんです。そういった社会課題を解決すべく「だいくエイド」という職人マッチングサービスを推し進めることで、現場の“困った”という声を助けられる存在になれたらと考えています。

当社はもともと大工の請負業からはじまりました。私自身、大工さんと一緒に仕事をしていた時期もあります。彼らの大変さを知っているからこそ、大切にしていきたいと思っています。成り手がなくなる前に、やりがいを持って稼げることを知ってもらいたいし、活躍できる場所を作っていきたい。器用さが強みとなって職に就ける、そんな社会に戻れたらと思います。



木造伝統工法の
家を大改装



最後に問われる「人の力」

POINT 04 ぎふの木ネットの今後に期待

モクタウンについて、各企業の強みを明確化してアピールできれば、今よりもっと魅力的なサイトになるのではないのでしょうか。現状は、各企業の建築写真がすべて似通っています。画像の内容を精査してカテゴリ分けすれば、ショッピングするような感覚で楽しめて、比較しやすいと思います。

街を歩いていると、いろいろなお店があってワクワクしますよね。街を訪れるように、もっと気軽にモクタウンに遊びに来てほしい。たくさんの人に訪れてもらうためにも、家にとらわれず、魅力的なコンテンツやイベント情報を掲載していくことが大切だと思います。



リフォームショップ
ショールーム

Create a healthy living environment



建築現場の“困った”を助ける
職人マッチングサービス

だいく
エイド
DAIKU-AID

our service



会社概要

会社名 株式会社アシスト
代表者 猪島 正司
所在地 〒501-5124
岐阜県郡上市白鳥町大島2871-2
営業時間 9:00 ~ 17:00
TEL 0575-82-5498
FAX 0575-82-6177

MAIL info@assist-gifu.co.jp
URL https://assist-gifu.co.jp/

SCAN ME!

詳しくは
ホームページを
ご覧ください



一新建設株式会社



Build a house with you

お客さまに感動していただきたい
安心・健康な家づくり

私たち一新建設は1980年に創業しました。先代創業者で元宮大工の父から「建築物は何十年も形が残る。絶対に手抜きをするな」と教え込まれました。現在は「お客さまを落胆させない精神」を継承しながらも、時代に合わせてチャレンジしていくことを肝に銘じて、日々取り組んでいます。

2011年に1級建築士事務所に登録し、翌年には新社屋を建設して不動産業務も開始しました。昨年から一新建設が手がける住宅は「At Hearth」というブランドで展開しています。ロゴも新しくしました。つねに考えを「一新」して、お客さまとともに家づくりをしていきます。



voice

代表取締役
長谷 治清POINT
01 「耐震」から「対震」へ
地震に強い家づくり

30年以内に発生すると予測されている東海地震は、岐阜地区で震度6弱以上になる見通しです。現在、住宅業界では「耐震」の考え方が主流ですが、私たちは備えるべき機能をより考慮した「対震」という考え方で、お客さまの家を守ります。

当社の「対震」技術とは、建築中の現場に起振機を設置して振動を起こし、パソコンで解析して建物の不安な箇所を探し当て補正・補強します。そして、制震工法を標準仕様とし、効果を測る再診断まで全棟行っています。耐震等級3の取得と、数世代が住み続けられる「長期優良住宅」認定も受けています。

ご家族それぞれの要望を叶えた
アクティブな家「降り注ぐ家」
LIXILメンバーズコンテスト2022
入賞作品

また、材料にもこだわっています。土台と柱に檜を使い、腐りにくく耐久性の高い特殊乾燥した芯持ち材で、背割り無し材を厳選しています。

木材を使った家は断熱性に優れ、「夏涼しく冬暖かい」という特性があります。断熱性の高い家は部屋間の寒暖差がないため、熱中症やヒートショックによる突然死を防ぎ、お客さまの健康寿命を延ばすサポートをしてくれます。また、木の香りはストレスを軽減し、リラックス効果があるとも言われています。

これからの家づくりは「安心」に加えて、「健康」がキーワードになると考えています。目の前の損得も気になりますが、将来後悔しない健康で安心な家づくりを叶えていただきたいですね。

POINT
02 4人の設計士が切磋琢磨する社内コンペ方式

お客さまの大切な設計プランは、その都度、私を含めた4人の設計士で社内コンペを開きます。

お客さまには最大4プランから決めていただけます。複数の設計士がそれぞれアイデアを持ち寄り、切磋琢磨しながら完成させます。

大変ご好評をいただいております。



設計プラン社内コンペ中



POINT 03 「ISO」の世界基準の認証、「女性活躍企業」に認定

2010年から継続してISOの認証を受けています。大変な努力が必要ですが、一新建設をご存じないお客さまにも、信頼していただけると考えています。

2020年には岐阜市から「女性活躍企業」に認定されました。当社は従業員の半数が女性。一新建設を知っていただくきっかけになれば、嬉しいですね。



ぎふし共育・女性活躍企業認定証

POINT 04 世界に1棟だけの家をじっくり丁寧に

一新建設は「年間12棟以上の注文を受けない」と公言しています。お客さまのライフスタイルに合った、世界に1棟だけの家をじっくりつくっていききたい。数字を追う会社にはなりたくないのです。経営者としては失格かもしれませんが、私はもともと技術者なので、良い家を作りたいという思いが根底にあります。

一生に一度の大きな買い物です。お引き渡しまで流れ作業で進めるのではなく、そのプロセスにおいても感動を与えたい。私たちのこうした思いに共感していただき、ご来店の7~8割のお客さまにご契約をいただいています。また、そのお客さまが新しいお客さまを連れてきてくださることも自信につながっています。

POINT 05 サプライチェーンを強化しお客さまに満足度の高いサービスを

コロナに端を発して、ウッドショック、ウクライナ戦争、円安などの影響から、住宅資材関連や住宅産業はかなりのダメージを受けています。この状況を打開するためには、社会情勢に影響されずに安定供給できる、国産材・県産材を活用することが重要だと思います。

ぎふの木ネットは関わっている工務店への支援に力を注いでいて、その取り組みに大変共感しています。工務店が活性化すれば木材も売れてお客さまにより安く提供できます。

ぎふの木ネットのネットワークを利用して、工務店同士の横の交流ができたと思っています。工務店同士が意見交換して技術を高め合えば、お客さまにより質の高いサービスを提供できると思いますね。



モデルルーム「ISSINハナレ」
見学予約受付中!

Create a healthy living environment



company 会社概要



会社名 一新建設株式会社
 代表者 代表取締役 長谷治清
 所在地 〒502-0913 岐阜県岐阜市東島 1-11-17
 営業時間 8:00 ~ 17:00
 TEL 058-232-1454
 FAX 058-232-1437

MAIL main@isshin-k.co.jp
 URL https://isshin-k.co.jp/

SCAN ME!

詳しくは
ホームページを
ご覧ください



キミドリ建築



Build a house with you

目指すは宇宙工務店 お客さまのオリジナリティに寄り添う家づくり

Good!



お客さまのあらゆるご要望に耳を傾け、丁寧に時間をかけて話し合い、オンリーワンの家づくりをしています。大切な人を守る家ですから、耐震と気密、自然素材にこだわっています。

これまで「新しいものを生み出す」ことをモットーにやってきました。これから先の夢を語るとしたら、宇宙住環境です。月や火星での住まい、いわゆるスペースコロニー。実現するためには、最強の気密と断熱性を備えた家づくりはもちろん、人間が生活し得る宇宙環境について、もっと知識を身につけたいと思います。

お客さまの夢を応援しながら、私自身も夢を追い続けています。子どもがそのまま大人になったとよく言われますね。



voice

代表
恩田 吉行

POINT 01 地震にも水害にも強い！サッカーボール型住宅

20年ほど前、水害にあった西枇杷島のお家の床の張り替えを行ったとき、「家ごと水に浮かべこんなことにならなかったのに」と思ったのです。当時「地震に強い家」はありましたが、「地震にも台風や水害にも強い」という家はなかったので、だったら私がつくろうと決意しました。

3階建ての
サッカーボール型
住宅【バリア】

それが、サッカーボール型住宅です。真四角で作ると構造上、長距離移動に耐えられない。そこで、多角形を組み合わせた球体にする事で、力を分散させ、丈夫な造りにしました。地震、台風、津波などの衝撃に強い設計になっています。このサッカーボール型住宅をきっかけに、キミドリ建築の名を広く知っていただけるようになりましたね。

Ufu fu



POINT 02 JAXAから仕事の依頼

広島で原爆に遭われたお客さまの依頼で核シェルターを作ったんですが、そのことが筑波のJAXA宇宙センターの耳に入り、ヘリポートを建設する際にお声がかかったんです。「ゼロ磁場」という磁気に関する知識が必要で、他社ではできなかつたらしく、私にまわってきました。

私は中卒ですが、宇宙について興味があって独学で学んできました。早稲田大学で講師として構造の話をしたり、文部科学省の依頼で国交省で法律についても講演、講話しました。

ただ、宇宙の話はずっと言えなかつたんです。思いはあっても口に出すと変わり者で終わってしまう…。JAXAの仕事を経験して実績を積めたので、やっと口に出せるレベルになったかなと思っています。



核シェルター

完成間近？
『宇宙船型住宅』

POINT 03 お客さまと一緒に建てる家づくり「半分セルフ」

「半分セルフ」では、お客さまにも実際に家づくりに参加していただけます。例えば、最初の工場で基礎の鉄筋を加工するところ、型枠を組むところからやっていただいたり、内装なら床張りや壁張りの手伝い、珪藻土や漆喰、Mokkun(木の塗り壁)なども塗っていただけます。お客さまも自分の家を作っている実感がわくようで、楽しんでいただいています。メンテナンスのノウハウもつきます。海外では珍しくないことなんですよ。

今後は人ができない作業をロボットを導入することで、やりにくいところや人では限界のところをカバーして、作業の幅を広げていきたいと思っています。ドローンを導入して屋根の点検もしています。



事務所にもロボットを導入



大きな倉庫に蓄えた国産材、県産材

POINT 04 サプライチェーンを強化して安定供給を確保

国産材、県産材をメインに安定的な供給ができるよう、サプライチェーンを強化させていく流れに賛成ですね。ウッドショックになりかけた3年前、危機感から大きな倉庫にかなりの量の木材を蓄えました。でも、これから先のことも考えると、これで足りるのかなと不安な思いもあります。県産材なら近場から運んでくることができるし、品質も良いですね。



POINT 05 目で見てわかるツールや動画でアピール

お客さまに補助金（環境負荷低減型ぎふの住まい普及事業費補助金）の説明をするとき、パッと見てわかるツールがあると助かります。あとは無垢材の良さが伝わる動画、例えばどんな機械で乾燥させているかなど、目で見てわかるものがあるといいですね。

24歳の息子と一緒に仕事をしていますが、次世代の人の集まりがあるといいかもしれないです。感性も違うだろうし、僕らがいると萎縮しちゃうかもしれないですからね。



Create a healthy living environment



company 会社概要



会社名 キミドリ建築
 代表者 恩田 吉行
 所在地 〒501-2257
 岐阜県山県市富永226-5
 営業時間 8:00 ~ 18:00
 TEL 0581-52-3885
 FAX 0581-52-3886

MAIL kimidorikenchiku@gmail.com
 URL https://www.g-wood.jp/

SCAN ME!
 詳しくは
 ホームページを
 ご覧ください



株式会社シャルドネ・オフィス



Build a house with you

家具から始まる家づくり 愛情とおもてなしで一生のお付き合い



私たちは今まさにリブランディングをしている最中です。創業以来40年以上にわたり「家具から始まる家づくり」をテーマに、家具と住宅を一つの空間としてトータルで考え、「まずは家具探しから始めましょう」というコンセプトでやってきました。長く大切にお使いいただけるよう素材にもこだわった天然木の家具を基軸にした家づくりは、これからも継続していきたいと考えています。

そして今、さらなるバージョンアップを図るべく、「家具職人とシャルドネコーディネーターで、ものも美しく暮らしに幸福を」という理念を社会へ発信しようとして動き始めています。私たちは作り手の思いを伝える伝道師であるべきだ、と。お客さまにはよいものを長く美しくお使いいただくことで、暮らしを幸福にするお手伝いをさせていただけたらと思っています。

私はシャルドネのお客さまに対する愛情深さやおもてなしが好きです。一生に一度の家づくりです。お客さまと一生お付き合いしていくためにも、私は一生シャルドネを担っていかなければならないと覚悟を決めています。



voice

代表取締役
小松 周平

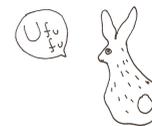
POINT 01 「家具から始まる家づくり」とは？

家づくりを「好きな家具を選んでいただく」ことから始めています。例えば、チェアやソファをお選びいただくときは、「チェアは整えるもので、ソファは癒やくつろぐもの」といったアドバイスを交えながら、座り心地を体感していただくようにしています。

ワンランク上のキッチン
CANDY MOSAIC

また、お客さまに一枚板をお見せしながら、家具の製造過程をご説明したり、直に触っていただいたりして、ものに込められた思いを丁寧に伝えていくことも、私たちの大切な仕事だと感じています。

シャルドネではキッチンも家具としてカテゴリ化しています。キッチンに立つことが楽しくなるように、内装もお選びいただけます。以前、整理整頓が苦手な奥さまがシャルドネキッチンに切り替えてから料理がお好きになり、教室を始めたと同ったことがあります。奥さまの幸福につながったのではないかと、私たちも嬉しい気持ちになりましたね。



POINT 02 家づくりのこだわりは「建材」「断熱」「構造」

家づくりでこだわっているのは、「建材」「断熱」「構造」の3つです。

「建材」については、無垢床をはじめ珪藻土やMokkun(木の塗り壁)など、自然由来の素材を天然木の家具と合わせています。自然なものを使うと和テイストに偏ってしまいがちですが、デザインの工夫でホテルライクやきらびやかに見せることを得意としています。

「断熱」についてはより高い断熱性能を表現するため、住宅の気密性能を東北地方の寒さにも耐えうる基準値を最低ラインとしています。ZEHや太陽光発電など新時代の省エネ住宅に向けて、さらなるバージョンアップを目指しています。

「構造」については耐震基準を「耐震等級3」相当を最低レベルにしていこうと考えています。

自然由来の素材を使った
ホテルライクな家

POINT
03 ぎふの木ネットをブランディングしてアピール

一社単独では生き残ることが難しい今の時代、ぎふの木ネット、モクタウン、サプライチェーンを進めていくことに大賛成です。材料や仕様を規格化してパッケージングし、共同購入や共同運営することで、日本のものづくりはもっと良くなると確信しています。

今後は、ぎふの木ネットやモクタウンをブランド化できたらいいなと思っています。例えば、スギに県産材である証の焼き印を入れる。パッと見てほしくなるようなわかりやすいものがいいですね。



厳選された自然素材



Create a healthy living environment



POINT
04 「暮らし」に関わる様々なイベントを企画

住宅のモデルハウス・ショールーム見学会だけでなく「暮らし」に関わる様々な事からお家づくり、空間づくりのきっかけを見つけていただきたいという想いでイベント企画をしています。

例えば毎月行っている「フレグランス体験イベント」もその1つで、大変ご好評をいただいています。自分の好きな香りを見つける、香りの奥深い世界を知れるという内容で『イタリア・フィレンツェ発の自然派フレグランス』ドットール・ヴラニエス社協力のもと行っています。

その他、子どもたちに木の良さや使うことの大切さを知ってもらうために、「木育」のイベントはうってつけですね。これからマイホームを購入する世代に伝わりやすい中身になっていると思います。



好きな香りを見つける
『フレグランス体験イベント』

会社名 株式会社シャルドネ・オフィス M a i l info@chardonnay-o.co.jp
 代表者 代表取締役 小松 周平 U R L https://chardonnay-o.co.jp/
 所在地 〒500-8385
 岐阜県岐阜市下奈良 1-1-8
 営業時間 10:00 ~ 18:00
 T E L 058-216-5190
 F A X 058-203-0661

SCAN ME!
 詳しくは
 ホームページを
 ご覧ください



company 会社概要



株式会社 永富



Build a house with you

他社が敬遠する難題に**最善**を尽くす お客さまの思いにとことん寄り添う**家づくり**



私たち永富は注文住宅をはじめ、戸建てや店舗のリフォーム・リノベーションを中心に、棚板一枚からビル建設まで請け負う総合建築企業です。「最善のものを創る」をミッションに掲げ、お客さま一人ひとりの思いにとことん寄り添い、他社が敬遠するような難しいご依頼にも匙を投げることなく、最善を尽くしてきました。その結果、狭小地や変形地での建築を手がけることが多く、今では狭小住宅をもっとも得意としています。

技術を追求めてきたというよりは、お客さまからいただく無理難題に対して、どうやったらクリアできるか、作り手と一緒に試行錯誤や創意工夫しながら、いろんなスキルを蓄えることができたといったほうが正しいかもしれません。金属製品や木製品ひとつとっても、かなり難易度の高いことをやっていると自負しています。

代表取締役
永富 和幸

POINT 01 パズルのように組み立てる新ブランド「住まいのパズル」

今ちょうど新しいブランドを立ち上げようとしているところです。既存の注文住宅ブランド「スペースラボ」では、ご家族の大切にしている価値観と向き合い、ゼロから設計する家づくりをしています。

一方で、令和4年秋にスタートした新ブランド「住まいのパズル」では、私たちが今までやってきたものを規格化して、パズルのように組み立てて家づくりをしています。

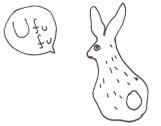
「スペースラボ」のようにフルオーダーの注文住宅は、誰もが憧れる理想の家ですが、残念ながら高額です。そのため、新築をあきらめてリフォームやリノベーションをする方が増えています。

ミニマムに暮らす
白い家

そこで、形状や寸法などを規格化してコストダウンを図り、お客さまの手が届く価格帯でご提供しようというコンセプトです。

さらに、ぎぶの木ネットを活用すればコストダウンが図れます。住宅プランもありますよね。それも踏まえて全部を束ねていくとメリットがあるのかなということで、登録を決めたという経緯もあります。

POINT 02 理想の家を設計士と共に創り上げる ハイブランドを構想中



来年に向けて今、富裕層向けのハイブランドを考えています。「住まいのパズル」とは真逆のコンセプトなんですが、お客さまの理想の家を設計士と共に創り上げるという発想です。

実際、お客さまの中には、色や柄を選ぶのに1日以上かける方もいらっしゃいます。時間とお金をたっぷりかけて、そのプロセスさえも楽しんでいただきたいですね。

今、設計の仕事をしたくてもできていない設計士さんがたくさんいます。そういった設計士さんのスキルと、それを必要とするお客さまをつなげられたらと考えています。

家族で楽しめるゆったりサイズの
アイランドキッチン堂々とした風格を備えた
個性豊かな家

POINT 03 ぎふの木ネットの「三方良し」の仕組みに共感

私がもっとも魅かれたのは、サプライチェーンであることです。岐阜県産材を使うことは、森林の管理や雇用を改善し、流通や施工の地域業者も活躍でき、ユーザーの建築空間の機能性も上がる、まさに三方良しの仕組みにつながります。

今、世界情勢を見たときに、合板に関しても輸入に頼って、よその国に儲けさせているわけですね。国内需要を拡大化して、みんなでもっと豊かになればいいと願っています。



長い一枚板を使った式台

POINT 04 ぎふの木ネットを広めるには 想いやビジョンを周知するのが先決

ぎふの木ネットのコンセプトは、これから家を建てる若い世代に共感してもらえると思っています。というのも、今どきの若い人の消費行動って、商品そのものだけでなく、その商品の背景にあるストーリーに共感して購入している人たちが増えていますよね。

だからこそ、ぎふの木ネットに登録されている企業の取り組み姿勢が問われると思っています。登録企業がぎふの木ネットの考え方を理解し、賛同し、想いやビジョンを共有できていれば、その先のお客さまにも伝わっていくものだと思うんですね。

お客さまに「安くできるよ」と売り込むのではなく、県産材を使うことのメリットをきちんとお伝えできるかどうか。ですから、ぎふの木ネットの想いやビジョンを周知するのが先決じゃないですかね。同じ価値観を持った企業・団体の集まりになれば、自ずと同じ価値観を持ったお客さまが集まってくると思います。



マイホーム相談会、ギャラリー見学予約受付中!

Create a healthy living environment



company 会社概要



会社名 株式会社 永富
 代表者 永富 和幸
 所在地 〒452-0803 愛知県名古屋市西区大野木4丁目26番地
 営業時間 10:00 ~ 19:00
 TEL 052-502-3800
 FAX 052-502-3810

MAIL info@nagatomi-kentiku.co.jp
 URL https://www.nagatomi-kentiku.co.jp/



株式会社ヤマジョウ建設



Build a house with you

ずーっと長持ち・安心・快適
家づくりはお客さまとともに

昭和30年の創業以来、「家づくりはお客さまとともに」をモットーに、120%満足していただく住まいづくりをめざしています。おかげさまで新築棟数は間もなく1,000棟にのぼります。私たちのこだわりは、性能と自然を両立させた家づくり。独自の外断熱工法と厳選した天然素材が、それを高次元で可能にしています。

ヤマジョウの家の外断熱工法は、全熱交換換気と全館空調システムを標準装備し、さらに屋内の隅々まで同じ空気がいきわたる空気循環路を設計段階で組み込んでいます。高断熱・高气密でありながら、家の外と内の空気をバランスよく調整する、1年を通じて快適な「呼吸する木の家」と言えます。

こうした環境は、壁や柱など建築材に負担が少なく、住宅の経年劣化を小さくすることが可能になります。つまり、夏は涼しく冬は暖かく、お部屋間で温度差の少ない、永く住みやすい家ということ。ですので、心臓に負担をかけることなく、家中どこでも快適に歩かすることができます。家族の健康にもつながりますよね。

また、天然素材にもこだわり、岐阜県産材100%の家づくりを提案しています。床材は無垢材を使用し、素足で歩くと暖かみを感じることができます。腰壁、天井、枠材などの仕上げ材にも天然木を使用し、漆喰塗や和紙の壁紙なども採用しています。

代表取締役
長屋 邦良

voice

POINT
01

丈夫な外箱の中身を自由にカスタマイズできる規格住宅

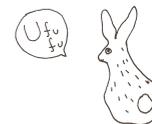
今私たちが考えているのは、できるだけロングスパンを飛ばせる構造や部材を採用しながら、間取りを自由に設計できる規格住宅です。それでいて耐震等級3が取れていれば、十分魅力的だと思うのです。別の言い方をすると、耐震性能を備えた丈夫な外箱を用意して、中身は自由にカスタマイズできる。さらにキッチンやお風呂、壁紙などを選ぶことができれば、お施主さまの希望をある程度かなえられるはずです。



長期優良住宅
耐震等級3(許容応力度計画による)
省エネUA値0.3台

ゼロからお施主さまの希望を積み上げて、そこに耐震性能をプラスして高額で提案するという従来のやり方は、これからの時代、通用しなくなっていくと思います。

プロが考えた骨組みと性能、その上でどれだけいいコストで出せるかが私たちの仕事。箱の中身をカスタマイズできることで、注文住宅の良さも出せると考えています。

POINT
02

小さな約束を積み重ねて両者の信頼関係を構築

サプライヤーである山と製材、バイヤーである私たち建築会社の信頼関係を構築することが大切です。1社では大きな約束はできないので、みんなで小さな約束を守り続け、地道に積み重ねていくことが、大きな信頼を得ることにつながると思います。



外断熱工法で、
吹き抜けでも快適!



床下空間の有効活用

POINT
03 国産材を積極的に使っていくことが大事

私たちは国産材しか使いません。さらに言うと、ぎふ県産材100%の家づくりをしています。山の木々が持つ役割と人にもたらす恵みを大切と考え、切り出した木材の有効利用を積極的に進めています。

戦後は国産の材木が不足し、サイズや品質にばらつきがあって使いにくかった…。そのため、外国産の材木を輸入して補っていました。その流れが今もなお続いているようです。

しかし、昨今は日本の材木も管理体制が整い、品質が徐々に上がってきています。だからこそ私たち作り手は頭を切り替え、国内産の材木を積極的に使っていくことが大事だと思っています。



ぎふの木を使うことは、
ぎふの山を
元気にすること



POINT
04 構造材のサイズを県内統一規格に
コスト削減とお客さま満足度アップを期待

外国産材から国産材へ切り替えるポイントとなるのが、サイズ問題です。国産材は外国材のサイズでは注文できません。また、製材自体も頼めば何でも作ってくれるという時代ではなくなってきているので、ある程度、規格を決めて発注することが求められます。

例えば、私たちは下材を30mmと45mmの2サイズに規格化しています。今はまだ当社1社のみですが、岐阜県内の設計事務所が足並みを揃えて規格化すれば、製材屋さんの作業効率は格段に上がり、ひいてはそれがコスト削減につながると思います。

お施主さまにとっても、品質の良い国産材をローコストで使えることや、地域の木材を使うことによって、未来の子どもたちに豊かな自然環境を残すことができるといったメリットがあります。



住む人の好みを反映した
ご提案を目指します！

Create a healthy living environment



company 会社概要



会社名 株式会社ヤマジョウ建設
 代表者 代表取締役 長屋邦良
 所在地 〒502-0061
 岐阜県岐阜市長良竜東町 3-1-1
 営業時間 8:00 ~ 17:00
 TEL 058-231-5868
 FAX 058-233-2330

Mail gifu@yamajo-cons.co.jp
 URL http://www.yamajo-cons.co.jp/

SCAN ME!
 詳しくは
 ホームページを
 ご覧ください



すべては、未来の森と人のために。



©岐阜県 清流の国ぎふ
ミナモ #0862

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

ぎふの木ネット協議会事務局 TEL:058-271-3111 / FAX:058-271-3116
〒501-6019 岐阜県羽島郡岐南町みやまち1-3 (ヤマガタヤ産業株式会社内)

※ この冊子は岐阜県からの助成を受けています。